

事務事業 No./名称	<input type="checkbox"/> サービス部門 <input checked="" type="checkbox"/> 支援部門 経企-25 社会教育運営事業						
主管課	文化人権推進課	関連課	教育総務課				
分野名	文化						
目標 (目標値)	鎌倉ゆかりの作品の散逸を防止し、それらを保存・活用する場をつくることで文化の創造に努める。						
人口等のデータ	データ区分	25年度	24年度	23年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	人口	177,895人	177,224人	177,204人			
	世帯数	80,295世帯	79,669世帯	79,217世帯			
	事業の対象者数						
運営資源状況	決算値(千円)	2,623	4,237	2,025	決算値は、文化人権推進課所管のみ記載		
	(国・県)						
	(負担金等)						
	(一般財源)	2,623	4,237	2,025			
	人員配置数	0.2人	0.2人	0.4人			
	人件費(千円)	1,539	1,602	3,435			
事務事業 運営経費	協働のパートナー						
	総事業費(千円)	4,162	5,839	5,460			
	市民1人当りの経費(円)	23	33	31			
	対象者1人当りの経費(円)						
ベンチマーク(県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒						
指標	評価	年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終年度(27年度)
		目標値					
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値					

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
美術館建設準備事業	2,131	美術館建設準備事業	2,290	今後の方向性	B	理由・手法	(仮称)鎌倉美術館の整備は、公共施設の全市の配置計画に関連付け、検討していく。
社会教育運営事業	492	文化行政推進事業の一部	510	今後の方向性	C	理由・手法	引き続き旧前田邸の管理を行っていくが、活用方法等については、他の視点をもって検討していく必要がある。
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	
				今後の方向性		理由・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・(仮称)鎌倉美術館の整備は、公共施設の全市的配置計画に関連づけながら、市内適地の検討、あるいは市内既存施設の活用の可能性について検討を行う必要がある。 ・旧前田邸の活用について検討を行う。											
課題解決のための取組	・美術品の適切な収集選定を行うため、美術工芸品等収集選定委員会を開催した。また、既に収集されている美術品の保管委託を行い適切な管理をした。 ・旧前田邸の活用について、庁内関連部署と協議した。					取組の結果	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決					
未解決の課題	・(仮称)鎌倉美術館用地等の選定に係る具体的な検討が進んでいない。 ・旧前田邸の具体的な活用方法を見いだせていない。											
中事業の評価	適切=○要改善=△(2面「評価の視点」を参照)			➡	①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組・H26予算への反映)	・(仮称)鎌倉美術館の整備は、公共施設の全市的配置計画に関連付け、検討を行う必要がある。 ・引き続き旧前田邸の管理を行っていくこととするが、活用方法等については、文化事業に限定せず、他の視点をもって検討していく必要がある。							➡	C	※□事業完了		

評価者名

文化人権推進課長

春日 和美

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要				【小事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△				
					①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性	
美術館建設準備事業	美術工芸品等収集選定委員会の開催、美術品保管委託などの業務を行った。(仮称)鎌倉美術館について検討した。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		1246	美術工芸品等収集選定委員会委員報酬	52	32	○	○	○	○
		1246	美術品収集協力者謝礼等	10	10	○	○	○	○
		1246	絵画展示不動産総合保険料	0	10	○	○	○	○
		1246	美術品保管委託料	2,079	2,079	○	○	○	○
1246	美術館搬送委託料	83	0	○	○	○	○		
※□	事業完了								
社会教育運営事業	旧前田邸の管理業務等を行った。				○	○	○	○	
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		159	消耗品費	20	9	○	○	○	○
		159	光熱水費	39	10	○	○	○	○
		159	電信料	35	32	○	○	○	○
		159	旧前田邸建物総合損害共済保険料	5	4	○	○	○	○
159	旧前田邸危険木剪定等業務委託料	300	300	○	○	○	○		
159	旧前田邸機械警備業務委託料	137	137	○	○	○	○		
※□	事業完了								
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切=○、要改善=△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								